

1 若者たちによる建学

こだまする民権・法学知の普及

Participation in movements of Freedom and people's rights and progress of knowledge about laws

法政大学の歴史は 1880 年に設立された東京法学社から始まります。薩埵正邦ら若き創立者たち、師であるボアソナード、そして法学者の梅謙次郎らが大学の礎を築きました。



法政大学を創立した若者たち

- 幕末に生まれた若者たち
- 東京法学社の創立
- 「腕力世界」から「法律世界」へ

ボアソナードとその教え子たち

- 「日本近代法の父」ボアソナード
- 「人を害するなかれ」
- 和仏法律学校
- 神田から九段へ

梅謙次郎と清国留学生

- 「空前絶後の法律家」梅謙次郎
- 「法政大学」の由来
- 清国留学生法政速成科
- 飛躍する校友会

2 進取の気象

総合大学としての発展、そして戦時下へ

Pioneering Spirit—
Development as a university and struggles during the war

1920 年、法政大学は専門学校から大学へと昇格します。野上豊一郎ら夏目漱石の門下生、哲学者の三木清らが教員となり、新興の大学として新たなスタートを切ります。



野上豊一郎と漱石門下の作家たち

- 大学昇格と市ヶ谷キャンパスの誕生
- 初代学長松室致と野上豊一郎
- 漱石門下の教員たち
- 「法政騒動」

内田百閒と開花する学生文化

- 「大学生」の誕生
- 「法政スピル」の時代
- 「よき師よき友つどい結び」
- 「六大学野球」「青年日本号」

三木清・戸坂潤が生きた時代

- 戦争の時代を生きた哲学者
- 戦争と法政大学
- 学徒出陣
- 航空工業専門学校

3

自由と進歩を 追い求めて

戦後法政大学の歩み

In the pursuit of
"Freedom and Progress"—
Postwar history of Hosei University

戦後総長に就任した大内兵衛はキャンパスの再建を図るとともに大学の目指すべき理念を示し、大学紛争時の総長中村哲は約 15 年の長きにわたり多くの困難な課題に向き合いました。



大内兵衛と「われらの願い」

- 学問の自由を追い求めて
- 「われらの願い」
- 53・55・58年館の建設
- 小金井キャンパスの開設

中村哲 対話する総長の肖像

- 戦後日本のオピニオンリーダー
- 大学紛争の季節
- 多摩キャンパスの開設
- 世界に広がる法政大学

コラム

- 学生たちが作った校歌
- 法政大学におけるジェンダー
- 付属校・短期大学の歩み
- 通信教育・出版局・大学シンボル

4

たゆまぬ 変革の明日へ

自由を生き抜く実践知 (大学憲章)

Sustained innovation—
Hosei University Charter
"Practical Wisdom for Freedom"

現在の法政大学は日本有数の総合大学です。原点を見失わず、教育と研究の理想を創造的に追求するため、社会との約束として法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を掲げています。



学部・付属校・キャンパスの 成り立ちと現在

現在の法政大学の、15 の学部、3 付属校、そして創設以来のキャンパスの変遷について紹介します。

卒業生たち

大学憲章が掲げる「自由を生き抜く実践知」を体現する本学卒業生の姿を紹介します。

研究・教育・活動

大学憲章が掲げる「自由を生き抜く実践知」を体現すべく取り組んでいる本学の研究・教育・活動を紹介합니다。